



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名

聖路加国際病院附属クリニック 予防医療センター 世森春野

【研究責任者】

聖路加国際病院附属クリニック 予防医療センター 世森春野

人間ドック受診者の行動変容ステージに関する調査

1. 研究の対象

下記、1～3のいずれかに該当する者を研究の対象者とする。

- 1) 当法人で2015年度一日人間ドックの受診者のうち、初回受診者で2015年から3年間（2015年4月～2017年3月）で2回連続して人間ドックを受診している受診者。
- 2) 当法人で2016年度一日人間ドックの受診者のうち、初回受診者で2016年から3年間（2016年4月～2018年3月）で2回連続して人間ドックを受診している受診者。
- 3) 当法人で2017年度一日人間ドックの受診者のうち、初回受診者で2017年から3年間（2017年4月～2019年3月）で2回連続して人間ドックを受診している受診者。

2. 研究の目的・方法

人間ドックで看護師が実施する保健指導では、対象者の状況に応じて行動変容ステージを分類し、行動変容ステージに合わせた働きかけが必要とされています。行動変容ステージとは、対象者の関心の程度や実行の状況に応じて5段階（無関心期、関心期、準備期、実行期、維持期）に分類し、行動変容ステージによって効果的な変容プロセスを示したもののことです。当施設では、全ての受診者に対し、看護師が生活指導を実施し、生活指導後に行動変容ステージの評価をしています。

当施設のドックのリピーター率は約8割である。（リピーター率とは、当施設の1日人間ドック受診者で、当該年度における受診者のうち、過去に1回以上の受診歴がある方の割合とする。）継続的にドックを受診しているにも関わらず、行動変容ステージが無関心期または関心期のまま、データが改善しない、かつ悪化してしまう受診者がおり、年に1回という断続的なドックといえども、複数回受診者が多い強みを生かして効果的な介入をしたいと考えました。

今回、行動変容ステージが無関心期・関心期のまま、データが完全しない、かつ悪化している受診者の現状と特徴を把握し、今後の生活指導の改善の足掛かりとすることを目的としております。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後 ～ 西暦2022年3月31日までの予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

《患者背景》

行動変容ステージの変化、個人ID、当日ID、性別、年齢、団体（健保or個人受診）、既往歴、主治医の有無、治療中断の有無、家族歴、受診日、受診番号、受診回数、自己評価の行動変容ステージ 等

《生活習慣項目》

欠食の有無、間食の有無、運動習慣、飲酒習慣、喫煙の有無、睡眠状況、食事バランス、夕食が外食となる日、食事時刻は規則的か 等

《特定健診項目》

身長、体重、体格指数（BMI）、腹囲、収縮期血圧、拡張期血圧 等

《看護師背景》

生活指導実施の看護師名、生活指導実施時間 等